

中小企業金融に関するアンケート調査結果の概要

中小企業金融の実態把握の一環として、平成22年2月に、全国の財務局等を通じて、商工会議所及び経営指導員等を対象に聴き取り調査を実施したところ、その調査結果の概要は以下の通り。

1. 中小企業の業況等に関するアンケート調査

- 各都道府県の商工会議所47先を対象に、会員企業の業況や資金繰りの現状と先行き等について聴き取り調査を実施。

- 中小企業の業況感・資金繰りは、厳しい状況が続いている

<業況感が厳しい要因>

- － 「売上げの低迷」の割合が最も大きく、次いで「販売価格の下落」が続く
- － 前回調査に比べ、「売上げの低迷」、「販売価格の下落」の割合が上昇

<資金繰りが厳しい要因>

- － 「中小企業の営業要因（販売不振・在庫の長期化等）」の割合が最も大きい
- － 前回調査に比べ、「中小企業の営業要因」の割合が上昇し、「金融機関の融資態度・融資条件」の割合が低下

2. 金融機関の融資動向等に関するアンケート調査

- 各地域の商工会議所・商工会の経営指導員等574名を対象に、中小企業への融資姿勢や、中小企業に対する貸付条件の変更等への対応に関する評価等について聴き取り調査を実施。

- 中小企業への融資姿勢

- － 積極的評価：60.9%、消極的評価：10.4%

前回調査では、積極的評価：53.8%、消極的評価：15.0%

- － 積極的評価が最も大きいのは政府系金融機関。次いで、協同組織金融機関、地域銀行、主要行の順

- 中小企業に対する貸付条件の変更等への対応

- － 積極的評価：61.2%、消極的評価：7.2%

- コンサルティング機能発揮に向けた取組み姿勢

- － 積極的評価：37.9%、消極的評価：12.0%